



碧南ロータリークラブ週報

第2315回例会 平成18年5月24日(水)

●会長 岡田 超勇 ●幹事 亀山 裕一 ●SAA 長田 豊治

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内 ☎447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail:info@hekinan-rc.jp

■会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聰之・岡本明弘

超我の奉仕

2005~2006年度
国際ロータリーのテーマ



● 齊唱

ロータリーソング 「ロータリー讃歌」



植松敏樹副会長



鈴木孝政氏

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

安城RC 牟礼研吾君

東海テレビ 野球解説者 鈴木孝政氏

副会長挨拶

皆さんご存知のように新しい「会社法」が成立しまして、5月1日から施行されております。新会社法は、最低資本金の制度がなくなりまして、今まで資本金が株式会社は1千万円以上、有限会社は3百万円以上でなければ設立できなかったものが、1円からでも会社設立ができるようになりました。また、取締役会、取締役、監査役などの会社の機関を設ける場合の組み合わせが、一定のルールで選択できるようになりました。そこで大会社を除いて、私達中小企業に特に関心がある事項についてまとめてみました。

A. 既存の有限会社はどうなるか

1. 有限会社は「特例有限会社」となるか「株式会社」となるか選択できる。

有限会社法は廃止され、新たに有限会社を設立することはできなくなりました。

2. 既存の有限会社は法律上は会社法上の株式会社となります、商号は「有限会社」という商号を用いなければならない。

このような会社を「特例有限会社」といい「株式会社」として存続することとなりました。

メリットとしては①従来の有限会社という商号がそのまま使える②従来通り決算広告が必要である③取締役の任期が無期限であるなど旧有限会社法に準じた経過措置が設けられています。

3. 有限会社の定款、登記は会社法施行となっても、通常は変更する必要はない会社法が施行され、有限会社の定款や登記は株式会社の定款や登記とみなされるため、定款変更や登記の変更を特別に行う必要がない。

しかし定款に書いてある「用語」は相当変更になっているので、何かの機会に定款の文言を見直し、会社法に沿った用語に変更しておかれた方がよいでしょう。

4. 既存の有限会社で「株式会社」となる場合は、商号の変更や定款変更および設立登記が必要となります。

「株式会社」を選択した場合には、「株式会社」という商号を使いますから定款変更が必要となります。そして2週間以内に「特例有限会社」の解散の登記と株式会社の設立の登記を行なわなければならないことになります。

B. 中小法の既存の株式会社はどうなるか

1. 株式会社は会社法上の「株式会社」となり、大多数の会社については定款や登記の変更を特別に行う必要はありません。

会社法の施行に伴い必要な登記の大部分は登記官が職権で行うので新たに登記の申請はしなくてもよい。

しかし定款に書いてある「用語」は相当変更になっているので、何かの機会に定款の文言を見直し、会社法に沿った用語に変更しておかれた方がよいでしょう。

2. 株式会社の役員の任期を10年まで伸ばすことが可能となりました。

既存の株式会社の取締役の任期は原則2年ですが、新会社法では公開会社のような大企業を除いて、株式譲渡制限会社は定款で最長10年まで任期を伸ばすことができるようになりました。また、監査役の任期は原則4年ですが、株式譲渡制限会社は定款で定めることにより最長10年まで伸ばすことができるようになりました。

以上新会社法のポイントだけを取り上げましたので参考にして頂きたいと思います。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・本日受付でガバナー月信5月号のコピーを配布致しました。先日万博ロータリー運営委員会の報告でも報告しましたロータリー館の決算書が掲載されていますのでご覧下さい。



亀山裕一幹事

ガバナー月信は毎月10日くらいにガバナー事務局のHPに掲載され、

プリント用のPDF版は25日前後に追加掲載されます。今月号は昨日アップされましたので本日配布致しました。印刷版3部は送られて来次第回覧致します。

次年度ガバナー月信は以前の様に全会員分の印刷版が配布される様に変更になる予定です。印刷版配布になっても各クラブの負担金はそれほど増えない様ですのでプリント代を考えるとその方が良いと思われます。

尚、IMも次年度は以前の様に開催される予定です。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 77名 (内出席免除者 14名) 出席者 55名	
出席対象者 48／63名	出席率 76.19%
欠席者22名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.41%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

安城RC牟礼研吾君 ご無沙汰しております。お世話になります。

池田 弘孝君 丸栄陶業第三工場の建設で樅山社長に大変お世話になり有り難うございました。

鈴木 並生君 安協碧南支部の総会が無事終了しました。これからも皆様方のご支援よろしくお願い致します。

平岩統一郎君 碧南市友好親善協会総会が終了しました。

木村 徳雄君 加藤丈太郎さんにお世話になりました。

匿名 中日ドラゴンズの大ファンです。でも落合ドラゴンズと呼ばれると好きになれません。本日、鈴木孝政さん、心より歓迎します。

卓 話

「野球あれこればなし」

東海テレビ野球解説者 鈴木孝政氏

私が33年間野球に係わった中でちょっといい話を聞いて下さい。

野球との出会いは小学2年生の時、父親にグローブとミットを泣きの涙で買ってもらいキャッチボールからの始まりでした。それからずつと優越感を持って続けてきました。プロ野球に入るきっかけは高校3年の春、千葉県大会に優勝し関東大会へ出場、みごと決勝戦まで行くことができ、その内容が評価されプロのスカウトの目にとまつたことから、その後学校の方へスカウトの方が訪問に来る様になり、12球団中10球団のスカウトが来ました。私自身は東京6大学で野球がしたくて8月に明治大学のセレクションを受けました。全国から67人受けました。しかし、希望するプロ球団の指名を受けたらプロへ行きますと約束しておきました。東京の球団を希望してましたが、ドラフトで中日の指名を受けプロの道へ進むことになりました。契約を交わし、夢とあこがれで入ったプロ野球でしたがそんなに甘いものではありませんでした。夢がかなうほど大変なことはないです。プロ野球に入って、良いとこなんだ、華やかなところだなというイメージでしたが、まず最初に教わったのは電話の応対からでした。それと挨拶、後は時間厳守です。集合時間は必ず開始2分前でした。遅れると1分間で1万円の罰金を取られました。それだけ信用と信頼が大事だということでした。入団して合宿の寮長への挨拶、大声でしたつもりでしたがポケットに手が入っていました。すぐ往復ビンタでした。無意識でしましたが甘くありませんでした。とにかくしつけは一番煩わしく教育されました。合宿所は6畳に2人の生活でした。実家から持って来た布団の中で1週間ぐらいは泣いて寝てたと思います。そんな風にプロ野球生活が始まりました。一番の思い出はONとの対戦です。ちょうど2年目、昭和49年ドラゴンズが20年ぶりに優勝した年です。3年目から抑えに回り、3年間いい仕事ができるようになりセーブ王も頂きそこでやっと顔と名前の一致するプロ野球選手になれたかなあと感じました。5年目に故障をしてしまいます。1軍の試合に出場できないとタダの人になってしまいます。扱い方が急変してしまい、とても辛い目に会いました。そこで練習よりも本当のプロ野球の厳しさを痛感しました。それからの3年間は故障した肘との戦いです。痛み止めを使用しながらの選手生活でした。結果は振るわず思うようになりませんでした。4年間かけて故障も治り、先発へ回るよう指示されました。初先発は勝ちこそありませんでしたが、次回もチャンスを頂きそこで完封勝利を挙げ、そのゲームを境に5年間先発投手として頑張ることができました。翌年には16勝を挙げ「カンバップ賞」を頂きました。いろんな賞がありますが、私にとっては1番意味のある又たくさんの人に支えられて頂いた賞です。一人ではできることと、感謝する気持ちをひしひしと感じました。32才の時、一緒にプレーをした人が監督としてチームに入って来ました。はっきり言つていやでした。選手の時とは、別人の様子でした。チームをまとめる役を受けた時は大変な苦労をしました。2年目にリーグ優勝をすることができ、日本シリーズで西武ライオンズと戦いますが、私の出番がなかったのです。チームの中で非戦闘員であることを知り練習だけのシーズンでした。こんなに面白くないゲームはありませんでした。結果は西武に敗れました。帰りの新幹線で監督に呼ばれました。うすうす感じましたが、そろそろ引退したらどうだという話でした。私自身まだ現役を続ける気持ちは充分にありましたので、「続けます」と答えたら、監督は「自分の好きなようにやれ」と言われました。半分戦力外です。人間は何かにしばられているほど幸せなことはないということを感じ、その年の秋のキャンプへ入りました。プロ野球生活の中で初めて参加するでなく、連れていってもらえるという弱気な気持ちになりました。その気持ちを持った



鈴木孝政氏

瞬間に来年はもうダメだなあと思いました。キャンプを終え公式戦が始まりましたが、2軍からのスタートになりました。

2軍の開幕投手を言わされました。お客様の数は雲泥の差でした。気合も入りません。相手チームに野次られながらも気分一新。3回を今までにない爽快な気分で投げ、使命感をまとうしたという満足感を味わいました。思い出に残るゲームのひとつでもあります。5月に自力で1軍に上がりましたが、監督から「どんなことがあってもお前を2軍に下げない」と言われ引退の近いことを察知しました。引退会見の日に出番があり、負けていた試合を逆転で勝利投手になれたのも神様が最後にプレゼントしてくれたのかなあと思いました。球団より功労金と引退試合までしていただき、すばらしい17年間のプロ野球人生でした。

最後に皆さんのが興味のあるお話をします。監督からお誘いがあり、自分にできる限りのことは補うつもりでしたが、シーズン途中で自分が信用されてないことにがっかりし、自分の決断でやめたことは事実であり、まちがいない事を申し上げます。

「終りを慎む、初めの如くあれば敗ることなし」

次回例会案内 平成18年6月7日（水）
「碧南市における地場産業の振興について」
碧南市経済環境部 商工課長 山田 忍氏